

レモネードスタンド普及協会の活動と 小児がん・治療の現状について (インタビュー要旨)



レモネードスタンド普及協会

1 レモネードスタンド活動とは

もともとのスタートはアメリカになります。アメリカでは夏になると子供たちがレモネードを作って売る「レモネードスタンド」をあちこちで見かけます。子供たちの職業体験、お小遣い稼ぎとして定着しています。そのなか、アメリカのある小児がん患者の少女が「自分と同じような病気の子供たちのために治療の研究費を病院に寄付したい!」と、自宅の庭にレモネードスタンドを開きました。この活動はテレビなどにも取り上げられ、全米に知られるようになりました。

これを機に、レモネードスタンドはお小遣い稼ぎの体験を楽しむだけではなく、集めたお金を小児がん治療のために寄付するという社会貢献活動として全米に広がりました。

日本の小児がん支援の仕組みづくりは、他の先進国と比べても遅れています。「この現状を、一人でも多くの人に知ってもらいたい。」「一人でも多くの人がアクションを起こしてほしい。」「誰かの役に立ちたい。」という皆様の想いを、小児がんの子供たちを支えるチカラに変えるのが、レモネードスタンド活動です。レモネードをつくって、売ってみる。レモネードを買ってみる。関わった1杯のレモネードは、小児がん治療の発展を待ち望む「だれか」を、救うことにつながります。

2 協会設立の経緯、協会の歴史について

そんな中、日本でもレモネードスタンド活動が広がることを願ってレモネードスタンド普及協会は2016年に設立されました。小児がん治療の研究を発展させるため、レモネードスタンドを広げることが使命です。皆様のレモネードスタンド活動を「レモン果汁の無償提供」、「Webサイトでの開催告知・レポートの発信」等を通じて微力ながら支援を行っています。

設立から6年、社会貢献意識の高い学生さんによる高校や大学文化祭での活動、ご家族や団体による地域のイベントの実施など、少しずつ輪が広がり、2021年は全国45か所で開催、提供杯数8,054杯、計3,518,236円の寄付金が集まり、企業からの寄付金3,030,410円と合わせて全額6,548,646円を小児がん治療の開発をする全国組織である「日本小児がん研究グループ (JCCG)」へ寄付いたしました。



図 レモネードスタンド活動の概要



図 果汁提供から寄付の流れ

3 小児がん・治療の現状

小児がんは一般に15歳以下で発症するがん（悪性腫瘍）のことをいいます。主なものに、白血病、脳腫瘍、神経芽腫、悪性リンパ腫、腎腫瘍などがありますが、種類は多種多様です。日本では年間約2,500人の方が罹患されています。1歳～14歳の子供の死亡原因の第1位にもなっています。（出典：厚生労働省 令和3年度人口動態統計）小児がんは進行が速く、すぐに入院が迫られます。そして、長い治療が必要となるため、お金の問題や精神的な負担が長い時間、ご本人やご家族にのしかかります。

小児がんは、大人のがんに比べると患者数が少ないことから、治療法や薬の研究開発への支援が少ないという現状があります。また、診断が難しいのも特徴です。小児がんの初期は風邪に似た症状が多く、一般の小児科の医師ではがんを見逃してしまうケースもあります。小児がんは種類も多いため、それぞれの専門の医師が少なく、最適な診断のできる医師がとても不足しています。小児がんの治療方法を確立するためには患者さんの治療データの収集、薬や治療方法の開発、遺伝子研究の推進などをはじめ、多くの資金が必要であり、皆様の御理解と支援が必要となります。

また、子供の成長を考えた時に、治療・入院期間中であっても学びや発見・経験は必要不可欠です。オンライン授業などの学びが届くような体制の構築、そのような学びに対応することのできる人員の確保や養成が必要となります。GIGAスクール構想をはじめとす

るICT機器の整備、教員や学びの担い手の確保、そして養成の両軸の環境整備をこれから考えていかなければならないと考えています。

4 今後の協会としての展望

今後も世の中の多くの人に小児がんの実態の理解を図ることや支援の輪を広げるためにレモネードスタンド活動の普及や充実につなげていきたいと考えています。

年間のべ365日以上で開催、つまり1日1回以上、日本のどこかでレモネードスタンドが開催されている社会が目指す姿です。開催が増えることで多くの方に知っていただける機会となるので、更に輪が広がっていくと思っています。

5 千葉県教職員に向けて

上記のとおり、まずは、小児がんの実態・支援に繋がるレモネードスタンド活動のことを知っていただきたいと思っています。そして、現状を知った上で是非、御自分ができる支援にはどんなものがあるか考えていただきたいと思います。どんなことでも構いません。学級での関連書籍・絵本の読み聞かせ、会議や打ち合わせの後に、レモネードスタンド活動や寄付や支援の方法を他の職員へ紹介すること、実際にレモネードスタンド活動を行っている場所に足を運んでみる…等、どれも小さな活動だと思います。しかし、一人一人のその小さな一歩が大きな力となります。たくさんの支援の輪が教育の世界にも広がることを願っています。

是非、協会のHPもご覧ください。

<https://www.lemonadestand-pa.jp/>

